戦場よさらば（1932）

A FAREWELL TO ARMS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 150分
初公開日 1933/07
公開情報 劇場公開

【解説】

第一次大戦のイタリア隊救護班に配属された米国出身の義勇兵フレデリック中尉（クーパー）は、ミラノの本部の病院で逢った親友の軍医リナルディ大尉（マンジュー）に看護婦とのダブル・デートに誘われ、大尉お目当てのキャサリン（ヘイズ）と急速に親しくなる。前夜しこたま呑んだ彼は空襲で飛び込んだ防空壕で、酒場の女と間違えて彼女の足にキスをしていた（素晴らしくエロチックな場面だ）。彼女は英国人で婚約者を追って従軍したが、彼は戦死したという。そして、フレデリックは再び前線に出て大怪我をして戻る。手厚く看護するキャサリン。二人は結婚を決意し軍属神父の祝福を受ける。人形劇の舞台で操られるアルファベットが月の名になり時間の経過を表し、全快したフレデリックは再び前線へ。キャサリンは少しでも彼に近づきたくて戦場に近いスイスの小村に暮らすようになるが、その報せをたまたま中尉と喧嘩して虫の居所の悪かった大尉が送り返してしまう……。ヘイズは舞台の名優で４０年代以降は主にホーム・グランドのブロードウェイに戻ったが、晩年、再び積極的に映画に出て、脇役で貫禄を見せた人。今一つ色気が足りないが、ボーゼージ好みの小柄な体躯で全力に演じて、涙を絞らせる。

【クレジット】

監督	フランク・ボーゼージ	Frank Borzage
原作	アーネスト・ヘミングウェイ	Ernest Hemingway
脚本	ベンジャミン・グレイザー	Benjamin Glazer
	オリヴァー・Ｈ・Ｐ・ギャレット	Oliver H.P. Garrett
撮影	チャールズ・ラング	Charles Lang
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper
	ヘレン・ヘイズ	Helen Hayes
	アドルフ・マンジュー	Adolphe Menjou
	メアリー・フィリップス	Mary Philips
	ジャック・ラ・ルー	Jack LaRue

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.